

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和7年10月15日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会 派 名 公明党議員団

代表者名 松橋 尚文



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受 命 者	松橋尚文 松原慶子
出 張 先	① 古宇郡泊村堀株村
期 間	令和7年10月9日 ～ 令和7年10月10日 (2日間)
用 務	① 泊原子力発電所
調査(研修) 結果等の概要	別紙にて報告 政務活動等報告書
備 考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

添付資料 活動及び調整内容要旨及び写真

「泊発電所視察」

訪問日時：令和7年10月10日 午前11時～14時40分

訪問先：北海道電力（株）泊発電所

面談相手：北海道電力株式会社 常務執行役員 泊原子力事務所長 牧野武史氏他（別紙に名刺添付）

泊発電所は、平成元年の1号機運転開始以来、地域のご理解のもと発電所運営に努めてきた。平成22年度末までの累計設備利用率は80%を超え、全国平均の70%を上回る良好な運転実績となっており、低廉かつ安定した電力供給に貢献していた。2027年のできるだけ早い時期に3号機、2030年代前半に全機再稼働を目指している。

視察は市議会13名で参加。初めに泊発電所のしくみや安全対策について説明頂いた。

安全対策の4つの柱については以下の通り。

- 1,自然現象などから発電所を守る⇒①敷地浸水対策として防潮堤を設置。②建屋内溢水対策として水密扉を設置。③森林火災対策として防火帯を設置。
- 2,電源を絶やさない⇒①外部電源の受電ルートを多重化。②常設バックアップ電源追加設置。
- ③移動可能なバックアップ電源車配備
- 3,炉心（燃料）を冷やし続ける⇒①水を供給するためのポンプを多重化・多様化
- 4,重大事故に備える⇒①水素爆発を防ぐ装置を設置。②放射性物質の拡散を抑制する放水砲を配備
- ③重大事故時の対応拠点を整備。④継続的な訓練を実施。

泊発電所3号機において、予定していた安全対策工事は概ね完了している。新設防潮堤の設置や残る安全対策工事について、審査結果を踏まえて適切に対応を行うとのことである。

また、ソフト面の原子力事故等対応能力向上のため、防災訓練を実施。各種要素訓練や、組織全体で行う総合訓練をおこない、情報伝達手段の充実強化を図っている。・厳冬期を想定した訓練
・発電所からの傷病者輸送訓練。・原子力規制庁と本店間でのテレビ会議における情報共有。
・実践的な訓練、夜間訓練や避難時モニタリング検査訓練。・新たに創設した専属消防隊による実火訓練。・夜間、吹雪ジの参集訓練など、2018年度～2024年度まで、年1000回を超える重大事故を想定した訓練を実施している。

また、事故の状況に応じた多種多様な安全対策設備を有効に使用するための手順書を整備。訓練において、整備した手順書の実効性の確認、新たに設置した安全対策設備に対する対応要員の習熟度の向上を目的とする。また、訓練を通じて発見された課題を、手順書の改善に反映し、さらに訓練を継続していくことで、事故対応能力の一層の向上に努めている。

講義後、実際に現場を視察。厳重な警備のもと視察をさせていただいた。

3号機内部の中央制御室タービン建屋、使用済み燃料プール、展望台や安全対策工事など視察。

